

3月7日・Jリーグ開幕

名古屋ダグラパンパスが「愛されたいクラブ宣言」

地元にもっと愛されたい！。Jリーグの二〇一五年シーズ
ンが三月七日に開幕する。地元・名古屋ダグラパンパスは開幕を
前に一月十八日、新加入選手などの発表会を行い、「ホーム
タウンの皆さまにもっと愛されるクラブに」と「愛されたい
クラブ宣言」を発表した。一〇年の優勝以来、成績も観客動
員も今一つのダグラパンパス、地元密着で巻き返しを図る。(取材・
本誌編集部)

「名古屋に新スタジアムを」

「われわれは勝つだけではな
く、サッカーを通じて地域が一つ
になることを目指している。多く
の人に試合を観てもらうために
は、ダグラパンパスはもっと愛されな
ければいけない」。名古屋市
熱田区の市教育センターで開催さ

れた発表会でダグラパンパスの福島義
広副社長は「愛されたいクラブ宣
言」の背景についてこう話した。

ダグラパンパスは一〇年にストイコ
ビッチ監督の下でリーグ優勝を果
たし、翌年も二位と健闘したが、
その後は七位、一一位、一〇位と
低迷。観客動員も横ばいが続く。
プロスポーツは「喫茶店や茶の間
の話題」になってナンボだが、同

じ地元球団のドラゴンズに比べる
とイマイチだ。

話題にならないのは、Jリーグ
全体の注目度の低下もあり、なに
もダグラパンパスの責任だけとは言
えないが、だからといって胡坐をか
いているわけにはいかないのだ。

「愛されたい宣言」に伴う具体
的なアクションとして、ホームタ
ウンに対しては「お客さま満足度」
の高いサッカーの提供、市民・行
政・企業・メディアと「顔の見え
るコミュニケーション」の向上を
図るといふ。またチームは好成績
を目指すと同時にトップチームで
活躍する地元出身選手の育成をし
ていく。

そして、今後の成り行きが注目

されるのがホームスタジアム問題
だ。

ダグラパンパスは名古屋市の瑞穂陸
上競技場と豊田市の豊田スタジア
ムをホームスタジアムとしてい
る。宣言では「ダグラパンパス二都物
語の実現」として、二つのスタジ
アムの両立をうたうと同時に、名
古屋市内に新スタジアムを誕生さ
せるために地元と一丸となって行
動していくという。

そもそも、ダグラパンパスはJリー
グ誕生時、瑞穂陸上競技場と同ラ
グビー場で公式戦を行っていた
が、〇一年に豊田スタジアムが誕
生すると、これもホームとして使
用してきた。ただ、瑞穂陸上競技
場は老朽化や規模の小ささを指摘